

2019 年度通常総会次第

1. 開会 14:00

2. 会長挨拶 大澤 和宏（名古屋テレビ塔株式会社 取締役社長）

3. 出席状況報告

4. 議事

第1号議案 2018 年度事業報告の件

第2号議案 2018 年度収支決算の件

第3号議案 2019 年度幹事会役員選任の件

第4号議案 2019 年度事業計画の件

第5号議案 2019 年度収支予算の件

5. その他

（1）会場からの発言

（2）事務局連絡

6. 閉会 15:00

----- 休憩（10 分） -----

7. 会員報告会 15:10～16:45

報告1：「着地型旅行商品造成」について

名古屋鉄道株式会社 グループ事業推進部 インバウンド担当課長 壁谷 知宏 氏

報告2：「中部圏におけるインバウンド・ハブ都市名古屋の役割」について

名古屋テレビ塔株式会社 取締役社長 大澤 和宏 氏

報告3：「札幌かに本家のインバウンドへの取組み」について

株式会社札幌かに本家 専務取締役 小笠原 輝幸 氏

報告4：「伏見界隈のナイトエコノミーモデル事業」について

ランドオペレータージャパン有限公司 社長（津カントリー倶楽部 理事長）

小池 建夫 氏

8. 閉会挨拶 16:45

16:50 終了

終了後別会場にて交流会



大澤会長



日置監事

会員報告会



報告 1：「着地型旅行商品造成」について

名古屋鉄道株式会社 グループ事業推進部 インバウンド担当課長 壁谷 知宏 氏

発売から1年3ヶ月経過した名鉄グループの着地型旅行商品「みつけたび中部」。前年から引き続き壁谷課長が報告。「犬山城下町きっぷ」などの売れ筋商品をはじめ、やはり造成&発信が最重要で、今後への期待がふくらんだ。



報告 2：「中部圏におけるインバウンド・ハブ都市名古屋の役割」について

名古屋テレビ塔株式会社 取締役社長 大澤 和宏 氏

冒頭で名古屋の「全国初」を複数紹介し、「時代に先駆けた地域の挑戦が今日を創る」という歴

史観に基づき、「名古屋をインバウンド推進のハブに」と、将来展望を語っていただいた。課題はやはり情報発信力だが、CISP を基盤に、地域一体となった取り組みに拍車がかかる。



報告 3：「札幌かに本家のインバウンドへの取り組み」について

株式会社札幌かに本家 専務取締役 小笠原 輝幸 氏

当地域で飲食業界きってのインバウンドの雄である札幌かに本家社。長年にわたる戦略的かつ熱意のこもった取り組みの蓄積が、同社のインバウンド実績の背景となっていることがよく分かり、TV の紹介番組での外国人ビジターの笑顔も印象的であった。



報告 4：「伏見界限のナイトエコノミーモデル事業」について

ランドオペレータージャパン有限会社 社長(津カントリー倶楽部 理事長)小池 建夫 氏

いよいよ始まる「伏見界限のナイトタイムエコノミー」モデル事業を紹介していただいた。取り組みのきっかけは 2016 年の CISP フォーラム「都市のインバウンド」で名古屋の「夜の愉しみ」時間消費をフォーカスしたことから。名古屋を一緒に変えていこう！という呼びかけが心強い報告であった。